

Concert Series  
珠玉のリサイタル&室内楽



# 徳永二男、堤剛、練木繁夫による 珠玉のピアノトリオ・コンサート Vol.9

日本のクラシック界を長年牽引し続ける、徳永二男、堤剛、練木繁夫による究極のピアノトリオの人気シリーズ第9弾。今回は、モーツァルトのウィーン時代の頂点に作曲された三重奏曲の最高傑作と言われている「第3番」や、スメタナが幼い娘を病気で亡くした際に追悼として書き上げた作品、シューベルト後期の傑作の一つとされる「第1番」という、名曲の数々をお贈りいたします。響き豊かなヤマハホールで、巨匠たちの音色に包まれる贅沢なひとときを過ごしてください。

徳永二男(バイオリン)、堤剛(チェロ)、練木繁夫(ピアノ)

W.A.モーツァルト/ピアノ三重奏曲 第3番 変ロ長調 K.502

B.スメタナ/ピアノ三重奏曲 ト短調 Op.15

F.シューベルト/ピアノ三重奏曲 第1番 変ロ長調 Op.99, D 898

2023/2/11(土) 14:00開演(13:30開場)

ヤマハホール 〒104-0061 東京都中央区銀座7-9-14

2022/10/29(土)前売開始 チケット料金(全席指定) 7,000円

チケット取扱い

チケットぴあ <https://pia.jp/t/> [Pコード:229-848]

ヤマハ銀座ビルインフォメーションカウンター(ヤマハ銀座ビル1階)

主催/ヤマハ株式会社

※政府のイベント人数制限方針により、販売席数が変動する可能性があります。予めご了承ください。

※都合により、出演者、曲目が変更になる場合がございます。予めご了承ください。

※未就学児のご入場はご遠慮いただいております。

※チケット料金には消費税が含まれております。

お問合せ ヤマハ銀座ビルインフォメーション 03-3572-3171(11:00~18:30/火曜定休 ※但し緊急事態宣言に基づく臨時休業の可能性有) ※お電話でのチケットのご予約は承っておりません。

# 徳永二男、堤剛、練木繁夫による 珠玉のピアノトリオ・コンサート Vol.9



©ヒダキトモコ

## 徳永二男 Tsugio Tokunaga (バイオリン)

人気、実力ともに日本を代表する音楽家。1966年、当時日本楽壇史上最年少のコンサートマスターとして東京交響楽団に入団。68年、文化庁在外派遣研修生としてベルリンへ留学、ミシェル・シュヴァルベ氏に師事。76年、NHK交響楽団のコンサートマスターに就任。その後首席第一コンサートマスターを経て、ソロ・コンサートマスターの重責を担う。N響在籍時代よりヨーロッパ、アメリカ各地から招かれる。94年にN響を退団し、ソロ、室内楽に専念。92年より鎌倉芸術館ソリストを主宰し、95年から2013年までJTアートホール室内楽シリーズの音楽監督を、96年からは宮崎国際音楽祭の総合プロデューサーを経て2011年からは音楽監督を務める。ソリストとして、モントリオール交響楽団やイギリス室内管弦楽団、ウィーン室内管弦楽団など、国内外の主要オーケストラからたびたび招かれている。08年から毎年、東京でリサイタル・シリーズを行う一方で、トーク・コンサート、タンゴ・コンサートなど、幅広い演奏会を全国で行っている。15年、ティボール・ヴァルガ・シオン国際ヴァイオリンコンクールの審査員を務める。16年には楽壇生活50周年を迎え、文化庁長官表彰を受ける。20年のベートーヴェンイヤーには、仲道郁代氏とヴァイオリン・ソナタ全曲演奏会を行い好評を博す。21年は、楽壇生活55周年を迎え、多くの演奏家や弟子たちが国内外から集い、サントリーホールにて記念演奏会を行う。近年は指揮者として、東京フィルハーモニー交響楽団、広島交響楽団、宮崎国際音楽祭管弦楽団などと共演。CDは、ブラームスのヴァイオリン・ソナタ全集、ベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタ全集や、パグニーニのカプリースなどをリリースしており、最新盤は「徳永二男プレイズ R.シュトラウス ヴァイオリン・ソナタ」(オクタヴィア・レコード)。



© 鍋島徳恭

## 堤剛 Tsuyoshi Tsutsumi (チェロ)

名実ともに日本を代表するチェリスト。桐朋学園大学音楽学部附属子供のための音楽教室、同学園高等学校音楽科を通じ齋藤秀雄氏に師事。1961年インディアナ大学に留学し、ヤーン・シュ・シュタルケル氏に師事。63年ミュンヘン国際コンクールで第2位、続いてカザルス国際コンクールで第1位入賞を果たし、現在に至るまで世界各地から招かれ、オーケストラとの協演、リサイタルを行っている。71年鳥井音楽賞(現サントリー音楽賞)、73年『ウジェーヌ・イザイ・メダル』(ベルギー)、74年『芸術祭放送大賞』、80年『芸術祭優秀賞』、レコードアカデミー賞、87年『モービル音楽賞』、N響有馬賞、93年『日本芸術院賞』、98年『中島健蔵音楽賞』などに加え、2009年秋の紫綬褒章を受章。また同年、天皇陛下御在位二十年記念式典にて御前演奏を行った。13年、文化功労者に選出。14年インディアナ大学より『トーマス・ハート・ベントン ムーラルメダル』、16年『ウィーン市功労名誉金章』、『2016年度毎日芸術賞(音楽部門)』、18年『文化庁創立五十周年記念表彰』など多数受賞、表彰されている。最近の録音では『肖像』が2021年度文化庁芸術祭レコード部門優秀賞を受賞、同年12月には『J.S.バハ: 無伴奏チェロ組曲(全曲)』のリマスター版を再リリースした。20年秋にはウィーン・フィルハーモニー管弦楽団日本公演においてソリストを務め、大反響を呼んだ。カナダ・西オンタリオ大学准教授、アメリカ・イリノイ大学教授、インディアナ大学教授を経て、現在桐朋学園大学特命教授(前学長2004~13年)、韓国国立芸術大学客員教授。公益財団法人サントリー芸術財団代表理事、サントリーホール館長、日本演奏連盟理事長。日本芸術院会員。



© 大塚道治

## 練木繁夫 Shigeo Neriki (ピアノ)

1976年ツソンのバイエニアル・ピアノ・コンクールと79年ピッツバーグのスリー・リヴァーズ・ピアノ・コンクールで1位に輝く演奏を機に、ボストン交響楽団、シカゴ交響楽団、デンバー交響楽団、ピッツバーグ交響楽団、ミネアポリス交響楽団、ワシントン・ナショナル交響楽団等と共演の機会に恵まれる。アメリカ国外でもメキシコ国立交響楽団、フランス放送管弦楽団、そしてNHK交響楽団を含む日本の主要なオーケストラと共演。また、76年より、チェロの巨匠ヤーン・シュ・シュタルケル氏とともに世界各地を公演し、絶賛を浴びる。2009年10月、紀尾井ホールでの「デビュー30周年記念リサイタル」は、各方面から高い評価を得た。室内楽奏者としてもヨーロッパ、アジア、北米のコンサートやフェスティバルに数多く出演。スイスのFestival der Zukunftsの室内楽シリーズと霧島国際音楽祭に毎年出演している。93年第24回サントリー音楽賞を受賞。90年シュタルケル氏と収録したD.ポッパーの作品のCDが、グラミー賞のソリスト部門にノミネートされる。97年にはオール・シューマン・プログラムの「パピヨン」が、文化庁芸術祭賞作品賞を受賞。03年秋には著書「Aをください」(春秋社)を出版。81年~15年までインディアナ州立大学で教鞭をとった。現在、桐朋学園大学教授、国立音楽大学招聘教授、相愛学園大学客員教授、エリザベート音楽大学非常勤講師、霧島国際音楽祭企画委員。リサイタルのみならず、室内楽、オーケストラ共演と幅広く活躍中。



## ヤマハホール YAMAHA HALL

〒104-0061 東京都中央区銀座 7-9-14  
03-3572-3139 (10:00~18:00/ 平日のみ)

<https://www.yamahamusic.jp/shop/ginza/hall.html>

- 東京メトロ銀座線/丸の内線/日比谷線  
「銀座」駅A3出口より徒歩4分
- 都営地下鉄浅草線「新橋」駅、「東銀座」駅より徒歩7分
- JR線「新橋」駅より徒歩7分

ヤマハホール公式 Facebookページ  
<https://www.facebook.com/yamahahall>



「いいね!」ボタンの  
クリックをお願いします。



**YAMAHA**

Make Waves